

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 松風

コード番号 7979 URL <http://www.shofu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 取締役社長 (氏名) 根来 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 藤島 亘

TEL 075-561-1112

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	11,900	△3.2	732	△28.5	659	△35.9	377	△42.9
21年3月期第3四半期	12,292	—	1,023	—	1,029	—	660	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	24.27	—
21年3月期第3四半期	46.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	22,041	18,086	82.1	1,125.21
21年3月期	20,944	16,612	79.3	1,163.77

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 18,086百万円 21年3月期 16,612百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
22年3月期	—	8.00	—		
22年3月期(予想)				10.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,687	1.0	1,121	△20.7	1,041	△20.7	677	△14.5	47.50

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	16,114,089株	21年3月期	16,114,089株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	40,177株	21年3月期	1,839,660株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	15,534,097株	21年3月期第3四半期	14,274,804株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)におけるわが国経済は、生産面で緩やかな回復傾向が見られ、設備投資も下げ止まりつつありますが、依然として企業の収益環境は悪く、また雇用情勢や所得環境の悪化もあり個人消費も低調に推移しました。デフレや金融市場の変動が实体经济に与える影響も懸念される中で、景気はやや持ち直しつつありますが、まだ自律的な回復力をもつまでには至らない状況で推移いたしました。

このような厳しい経営環境の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は11,900百万円と前年同期比391百万円(3.2%減)の減収となりました。売上高に含まれる海外売上高は2,727百万円(対売上高22.9%)となり、前年同期比143百万円(5.0%減)の減収となりました。

利益面は減収と販売費及び一般管理費の増加により、営業利益が732百万円(前年同期比291百万円、28.5%減)となり、さらに経常利益も営業外収益の悪化等により、659百万円(前年同期比369百万円、35.9%減)となり、いずれも前年同期比減益となりました。また、特別利益の減少などにより、税金費用を差し引いた四半期純利益も377百万円と前年同期比283百万円(42.9%減)の減益となりました。

(デンタル関連事業)

国内では、新製品として平成21年10月に硬質レジン歯「ベラシアSA」、前臼歯対応フッ素徐放性フロアブルコンポジットレジン「ビューティフィル フロープラス」、歯科メタルセラミック修復用陶材「ヴィンテージMP」を新たに市場投入するなど、研究開発力を活かした積極的な販売に注力いたしましたが、市場環境は依然として厳しい状況が続き前年同期比減収となり、また海外も、韓国・台湾向けが伸び悩み前年同期比減収となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,588百万円(前年同期比312百万円、2.9%減)、営業利益は726百万円(前年同期比272百万円、27.3%減)となりました。

(ネイル関連事業)

ネイル関連事業は、長引く個人消費の低迷により、ネイル業界全体の市場の伸びが鈍るなど、引続き厳しい環境で推移いたしました。可視光重合型ジェルネイルシステム「L・E・D GEL Presto」に新色を追加し、「ネイルデダンス」を含めた自社グループ製品を中心にきめ細かな販売活動に注力いたしましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,267百万円(前年同期比51百万円、3.9%減)となり、利益面でものれん償却費用の負担等販売費用の増加を伴ったことから、営業損失2百万円(前年同期比13百万円、120.3%減)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、株式会社昭研が歯科用研磨材の生産技術を応用し、工業用研磨材を販売している事業分野であります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は46百万円(前年同期比25百万円、34.8%減)となり、営業利益は7百万円(前年同期比5百万円、41.9%減)となりました。

参考：在外子会社財務諸表項目の邦貨への換算レート(期末日レート、人民元は9月末レート)

米ドル	1ドル	= 92.10円(前年同期 91.03円)
ユーロ	1ユーロ	=132.00円(前年同期 127.96円)
英ポンド	1英ポンド	=146.53円(前年同期 131.83円)
中国人民幣元	1元	= 13.10円(前年同期 15.40円)

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ、1,096百万円(5.2%増)増加し22,041百万円となりました。

資産は、自己株式の処分等により現金及び預金が増加し、棚卸資産や投資有価証券も増加している一方、受取手形及び売掛金が減少しています。

負債は、前連結会計年度末に比べ、377百万円(8.7%減)減少し3,954百万円となりました。未払法人税等や未払金・未払費用などその他の流動負債が減少しています。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、1,474百万円(8.9%増)増加し18,086百万円となりました。自己株式の処分により、自己株式が減少したことが主な要因であります。この結果自己資本比率は前連結会計年度末に比べ、2.8ポイント上昇し82.1%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月14日決算発表時の期初の業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度にかかる実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。また、一部の連結子会社については、予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合については、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

④ 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,648	4,694
受取手形及び売掛金	2,134	2,490
有価証券	162	170
商品及び製品	2,247	1,954
仕掛品	631	653
原材料及び貯蔵品	605	538
その他	859	833
貸倒引当金	△111	△144
流動資産合計	12,177	11,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,589	6,385
減価償却累計額	△3,839	△3,696
建物及び構築物（純額）	2,750	2,689
その他	6,301	6,068
減価償却累計額	△4,052	△3,815
その他（純額）	2,249	2,253
有形固定資産合計	4,999	4,942
無形固定資産		
のれん	556	623
その他	291	315
無形固定資産合計	848	939
投資その他の資産		
投資有価証券	2,915	2,747
その他	1,106	1,130
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,015	3,870
固定資産合計	9,863	9,752
資産合計	22,041	20,944

（単位：百万円）

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	623	540
短期借入金	1,020	1,020
未払法人税等	88	320
役員賞与引当金	34	45
その他	1,046	1,296
流動負債合計	2,813	3,222
固定負債		
退職給付引当金	100	98
役員退職慰労引当金	485	444
その他	555	566
固定負債合計	1,140	1,109
負債合計	3,954	4,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,474	4,474
資本剰余金	4,576	4,641
利益剰余金	9,243	10,305
自己株式	△55	△2,562
株主資本合計	18,238	16,859
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	264	134
為替換算調整勘定	△416	△381
評価・換算差額等合計	△152	△247
純資産合計	18,086	16,612
負債純資産合計	22,041	20,944

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	12,292	11,900
売上原価	5,572	5,314
売上総利益	6,719	6,586
販売費及び一般管理費	5,695	5,854
営業利益	1,023	732
営業外収益		
受取利息	34	21
受取配当金	58	44
会費収入	80	78
その他	87	45
営業外収益合計	259	189
営業外費用		
支払利息	14	11
売上割引	114	114
当社主催会費用	79	87
その他	45	48
営業外費用合計	254	262
経常利益	1,029	659
特別利益		
貸倒引当金戻入額	106	29
関税還付金	49	—
投資有価証券売却益	—	19
特別利益合計	156	49
特別損失		
投資有価証券評価損	94	53
特別損失合計	94	53
税金等調整前四半期純利益	1,091	656
法人税等	431	279
四半期純利益	660	377

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	デンタル 関連事業 (百万円)	ネイル 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	10,900	1,319	72	12,292	—	12,292
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,900	1,319	72	12,292	—	12,292
営 業 利 益	999	11	13	1,023	—	1,023

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の種類、用途及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する事業の内容

(1) デンタル関連事業……歯科に関連する材料、機器の製造・販売及び修理サービス

(2) ネイル関連事業……ネイルに関連する美容器具・健康器具及び化粧品等の製造・販売、サービス業

(3) その他の事業……工業用材料・機器の製造販売、上記(1)、(2)以外の事業

3 従来、当社及び連結子会社の主たる事業であるデンタル関連事業が全セグメントに占める割合が高かったため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しておりましたが、前連結会計年度にネイル関連事業を営む株式会社ネイルラボを新たに連結の範囲に含めたことに伴い、ネイル関連事業の割合が高まったため、第1四半期連結累計期間より事業の種類別セグメント情報を記載しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	デンタル 関連事業 (百万円)	ネイル 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	10,588	1,267	44	11,900	—	11,900
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	2	2	(2)	—
計	10,588	1,267	46	11,902	(2)	11,900
営 業 利 益	726	△2	7	732	(0)	732

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の種類、用途及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する事業の内容

(1) デンタル関連事業……歯科に関連する材料、機器の製造・販売及び修理サービス

(2) ネイル関連事業……ネイルに関連する美容器具・健康器具及び化粧品等の製造・販売、サービス業

(3) その他の事業……工業用材料・機器の製造販売、上記(1)、(2)以外の事業

② 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	アメリカ (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	10,308	740	942	300	12,292	—	12,292
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,108	21	90	149	1,369	(1,369)	—
計	11,417	761	1,032	449	13,661	(1,369)	12,292
営業利益	1,038	17	18	63	1,138	(114)	1,023

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域
 国又は地域の区分は、地理的近接度により、「アメリカ」、「欧州」、「アジア」に区分しております。
 「欧州」にはドイツ及びイギリス、「アジア」には中国が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	アメリカ (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	9,790	779	1,009	320	11,900	—	11,900
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	969	33	99	171	1,274	(1,274)	—
計	10,759	813	1,109	492	13,175	(1,274)	11,900
営業利益	589	30	66	44	730	1	732

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域
 国又は地域の区分は、地理的近接度により、「アメリカ」、「欧州」、「アジア」に区分しております。
 「欧州」にはドイツ及びイギリス、「アジア」には中国が含まれております。

③ 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	北米・中南米	欧州	アジア・ オセアニア他	計
I 海外売上高(百万円)	788	945	1,137	2,871
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	12,292
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	6.4	7.7	9.3	23.4

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 3 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。
 北米・中南米……アメリカ・カナダ・ブラジル、欧州……ドイツ・イギリス、アジア・オセアニア他……韓国・中国であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米・中南米	欧州	アジア・ オセアニア他	計
I 海外売上高（百万円）	789	1,011	926	2,727
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	11,900
III 連結売上高に占める（%） 海外売上高の割合	6.6	8.5	7.8	22.9

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

3 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米・中南米……アメリカ・カナダ・ブラジル、欧州……ドイツ・イギリス、アジア・オセアニア他……韓国・中国であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	4,474	4,641	10,305	△2,562	16,859
当第3四半期連結会計期間 末までの変動額					
剰余金の配当			△271		△271
四半期純利益			377		377
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分※		△64	△1,128	2,507	1,314
連結子会社の増加に伴う減少			△39		△39
当第3四半期連結会計期間 末までの変動額合計		△64	△1,062	2,507	1,379
当第3四半期連結会計期間 末残高	4,474	4,576	9,243	△55	18,238

※ 平成21年6月4日付で、三井化学株式会社を割当先とする第三者割当による自己株式の処分を実施いたしました。